



•Foundation of River & basin Integrated Communications

人々と社会に安全・安心を!



地球温暖化に伴う気候変動を受け、集中かつ激甚化した豪雨により日本全国で大規模な水害・土砂災害が相次いで発生しています。

そのため、災害時の応急対策活動や住民の避難行動等に役立つ河川・流域情報の提供や災害時の危機管理などのソフト対策の、より一層の充実が強く求められています。

河川情報センターは、これまでの豊富な実績と経験によって培ってきた技術力やノウハウを活かし、皆様のニーズに即した河川・流域情報の提供、及び危機管理に関する専門的かつ高度な業務を行う、公益性の高いシンクタンク（1985年（昭和60年）設立）であり、以下の事業を展開しています。

- 災害時の避難行動や緊急活動に不可欠な河川・流域情報の適確なリアルタイム提供
- 避難のタイミングの判断や適確な災害対応・判断ができるような情報提供
- 災害時の判断・行動に資するマイ・タイムライン等の普及や防災機関の危機管理体制の充実に向けた各種の支援
- 洪水予測システムの精度向上、雨量・河川水位・流量等の観測技術の高度化